

年中行事

年中行事（正月祈祷・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしています。正月祈祷は一年をすがすがしい気分始めるための十分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

お参りは

寺やお墓参りはご家族でお参りください。自然と親から子へ、子から孫へと引き継がれます。寺との関係も自然と理解いただけます。

ご家族で

年忌法要後の食事

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後のお食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。出張して食事を用意してくれる店もご紹介できます。

気仙沼海産物予約と当日販売

ご好評にこたえて、気仙沼海産物の予約頒布をします。予約は九月十一日までに。詳細は別紙をご覧ください。予約なしでも十九日彼岸法要当日も販売します。

墓所工事

各家の墓所を大きく改修する時、あるいは小さな修理等でも施工する石材店に工事をする上での注意事項がありますので、寺へご連絡ください。なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お頒けすることがあります。詳しいことは寺へ直接ご連絡ください。



日曜の朝の坐禅体験

毎週日曜の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

【写経体験】本堂にて

- 午後一時半～四時半まで
第二・第四日曜日・第四土曜日
- 【金つぎ教室】講師 花輪滋實
第四土曜日 午後一時半～四時半まで
- 【仏像を彫る会】講師 高野竜生
第二・四日曜日 午後一時半～四時半まで
- 【声を出して元気になる】講師 加藤純子
月に一度不定期 午後一時半～三時

本堂は全部椅子席です。席を用意する都合上、ご出席の方は電話・FAX等でご連絡ください。

彼岸法要後はバイソン・トリオのジャズ。バイソン片山さんの生家は宮城県気仙沼市の地福寺。これまで、松岩寺の本尊さまもいろいろのものを聞いてきたけれど、ジャズははじめて。多数のご参集をおまちしています。（遠方から墓参だけのために来られる方がおられますが、それって面白いのかなあ。法要に参列して、寺でお昼たべて、墓参した方が楽しいと思うのですが。）

編集後記

○彼岸法要と「写経体験」のご案内をいたしました。紙面の制約から定例の「見つけた」欄はお休みです。東京国立博物館で開かれる「禅」展を参観する日帰りツアーも企画していたのですが、気力が続かず断念しました。（上野東京国立博物館平成館「禅 心をかたちに」展／十月十八日～十一月二十七日まで。ご興味のある方はどうぞ）
○だいぶ前から、「〇〇体験」というのが流行っています。たとえば、「写経の会」というと会員になって会則や会議があると誤解されて嫌われてしまいます。面倒なことは避けて、ちょっと試しに「体験」してみる、というのが好まれるようです。なんだか軽い風潮であり好きになれないのですが、心ならずも流行に追従して、「写経会」とせずに「写経体験」としました。
○ピアノ講師から聞いたエピソードです。若いお母さんが尋ねたそうです。「三歳になる子にピアノを体験させていただけませんか」。講師は断ります。なぜなら、数回の体験ではわからない。何か月、あるいは何年かやってみて少しわかるようになるのだから。
○サッカーの本田圭佑選手がこんな事を言っていました。「まずはやる、というのがなんでできないんですかね。今の若手は失敗しない条件を整えて行こうとする。そんなんで面白いのかな？失敗なんか失敗とさえなければ成長できる」（日経新聞平成二十七年七月九日朝刊）。これは、本多流「お試しなしのススメ」です。（住職記）

9月18日（日曜日）から22日（中日・木曜日）まで、墓地では花と線香を用意しております。

